

台風21号に対する初動対応にかかる《内部検証結果報告》

被害状況：床上浸水246件 床下浸水234件 道路冠水44件 通行止め34件 道路陥没等13件 他

- 検証事項1** 寺尾地区の浸水被害の情報伝達は適切になされたのか。
【検証結果】 適切になされなかった。
- 検証事項2** 寺尾地区における内水反乱に対する認識や体制は十分であったのか。
【検証結果】 認識や体制は十分ではなかった。
- 検証事項3** 市民に対する情報発信は適切だったのか。
【検証結果】 適切ではなかった。

内部検証会議からの改善に向けた意見 〈要約〉

「災害対応部長会議設置時の情報共有・指揮命令系統の整備、内水対策に係わる各所管部署の横断的体制構築の必要性がある。また、情報共有の重要性を再確認、情報集約・分析班設置の必要性、防災担当職員の資質向上、市民目線に立った情報提供の検討、避難情報等の基準の見直しの必要性がある」などの意見が付されました。

補正予算：水害対策及び台風21号被害の復旧予算を可決

- ① 排水ポンプ車×1台の購入【新規】・・・債務負担行為*1を設定
- ② 可搬式排水ポンプ×10台及び床下排水ポンプ×10台の購入・・・500万円
(可搬式は現在、高階2カ所、岸町、仙波の備蓄庫に計44台。床下用は地域への貸出用として新設。)
- ③ 土のうステーション(簡易土のう置き場)×5基(1基あたり100袋収納)の設置・・・250万円
- ④ 江川流域下水路の本復旧工事・・・2億円
- ⑤ 久保川護岸の本復旧工事・・・1300万円
- ⑥ 中島雨水ポンプ場復旧修繕工事に関わる上下水道局への負担金・・・債務負担行為*1を設定

*1 債務負担行為とは、今年も含めて複数年にわたって支出が発生する予定ではあるが、今は支払う予定がない場合に使われる予算の項目の一つ。議会の議決により設定され、実際にその年に支払いが発生することが確実になった時に、改めて歳出予算として計上します。



「防災・減災対策と特別委員会」の設置決定

市議会では、いつ起きるか分からない災害から多くの命を守るために、それぞれがどのように防災・減災対策に取り組むべきか調査・研究するために、防災・減災対策特別委員会を設置しました。

グリーンス川越74号でご案内をさせていただきました川越市義援金(台風第21号)の受付は1月12日をもって終了致しました。ありがとうございました。お預かりした義援金は、川越市義援金運営委員会の決定に基づき、以下の通り全額が被災者へ配分されます。

義援金の配分結果 : 義援金額 23,467,563円

内訳:	①個人・団体 (125件)	21,817,025円
	主な寄付者及び額 川越市自治会連合会	14,495,638円
	②義援金箱	136,867円
	③市職員	1,513,071円



義援金の配分

- (1) 床上浸水の被害にあった世帯 70,000円(275世帯)
- (2) 床下浸水に合った世帯 15,000円(258世帯)

*残額については、自治会区域内で10世帯以上の床上または床下浸水の被害が発生した自治会(寺尾第1、第2、第3、及び岸町1丁目)に対し被災世帯数で案分して配布。

..
